



## 学級通信

# ははたき

大田区立御園中学校

難聴学級

第1号

令和7年4月30日

## 今年度もよろしくお祈いします



難聴学級の通級生および保護者の皆さま、ご進級おめでとうございます。

今年度の学級は、2年生3名、3年生2名でのスタートです。今年、難聴学級は新入生が入らない形でのスタートとなりました。数年前の皆さんと同じように、新しい環境の中に飛び込んでくる後輩を楽しみにしていたはず…と考えると、残念です。しかし、皆さんにはこの1年だからこそできることを探し、来年度、後輩たちが入ってきたときには「先輩」として様々なことを伝えられるように、日々を大切に過ごしてほしいと思います。この1年間、校内・校外あわせた5名の関わりをさらに深め、温かくて心から安心のできる難聴学級をつくり上げていきましょう。

昨年度まで難聴学級にいた伊藤優美先生は、蒲田中学校固定級（情緒）へ転任されました。3月の面談では、ゆっくりと時間をとり、伊藤先生との別れを惜しむ生徒達の姿が見られました。伊藤先生は、4月30日（水）の歓送迎会にいらっしゃいます。改めて、感謝の気持ちを伝えられると良いですね。そして伊藤先生の代わりに、武蔵野市立第一中学校エコールーム（難聴学級）から芳我明日香（はがあすか）先生がいらっしゃいました。

## 2025年度 教職員の紹介

あおの しげお  
**青野 茂生**

御園中学校が新たな試みに挑戦する年度が始まりました。難聴学級4年目を迎えた私自身も、着任された芳我先生とともに、挑戦を重ね、より良い学級を作っていく所存です。これから先もこの学級が、多くの聴覚障害の子どもたちの成長の場でいられるよう、通級生5人、卒業生、保護者の皆様と力を合わせていきたいと思っています。

今年度もよろしくお祈いいたします。

はが あすか  
**芳我 明日香**

初めまして。今年度より御園中学校の難聴学級の担任となりました。昨年度までは、JICA（ジャイカ）の青年海外協力隊としてガーナの公立学校に派遣され、デフの子ども達の支援をしていました。

ガーナに派遣される前も日本の難聴学級で働いていましたが、校外生の多い学級で勤めるのは初めての経験。私も皆さんから沢山のことを学んで、御園中難聴学級の担任として成長していきたいと思っています。

## 今後の予定

【4月】30日（水）グループ学習②「難聴学級 歓送迎会」集合 15:30頃 開会 16:30～

【5月】21日（水）グループ学習③「クイズ大会～自分の聞こえ方を振り返ろう」

【6月】11日（水）グループ学習④「進路先訪問に向け、自分のきこえを説明しよう」

【7月】2日（水）前期委託検査（校内外全員参加）

## 春休み中の面談が終わりました

3月末～4月初旬の期間に、難聴学級で三者面談を実施しました。お忙しいところ時間を作ってください、ありがとうございました。それぞれが昨年度の学校生活を振り返り、自分の言葉で成長と課題を語る姿が印象的でした。

### ロジャーの活用について

面談では、学校でのロジャーの活用について話題が上がるがありました。中には英語の子音の音の聞き取りにくさに難しさを感じていると訴える姿もありました。

新年度は学年の先生や教科の先生が新しくなります。また、クラスが変わることで緊張したり集中して話を聞く時間が長くなったりすれば、聞きもらしてしまうことも出てくると思います。ロジャーを常に充電して使える状態にしておいて、必要な時は、すぐに出してお願いするようにしましょう。

また、新しい先生方にとって、ロジャーは見たことも聞いたこともない機械かもしれません。「先生達から伝えておいてくれるだろう」ではなく、自分から積極的に説明してくださいね。

### 情報保障の実施について

面談時にお伝えした通り、今年度からは校外生の所属する学校でも、情報保障の機会を広げたいと考えています。

- 周りの意見をしっかりと理解したい
- 集中して聞くことにひどく疲れる

授業中にこういう気持ちを経験したことがある人は、検討してみたいかがでしょうか。在籍校の先生とも相談しなければならないことなので、頼んですぐにスタートできるものではありません。

詳細が気になる人は声をかけてください。また、情報保障に関わらず、授業の聞こえに関して気になることがあれば、すぐに難聴学級にお知らせください。

## 環境調整 ～聞き取りやすい教室づくり～



学期始め、在籍学級協力の下、今年度も通級生在籍学級の机・イスにテニスボールを設置しました。設置前に「テニスボール設置」を通級生が在籍するクラスの生徒たちに問いかけたところ、「とにかく静かになって授業に集中できる!」と口にしています。

以前、難聴生のいないクラスの生徒が、「テニスボールが付いていないと、やっぱりうるさいなあ」とつぶやいていました。どんな生徒にとっても、全員が落ち着いた環境の中で学習を受けられるようにすることが、一人ひとりの可能性を伸ばす教育の原点になると考えます。